

(法第10条第1項関係様式例①【特定非営利活動事業のみの場合】)

初年度分及び次年度分を作成

〇〇年度 活動予算書

初年度は「成立の日から××年××月××日まで」と記載

××年×月×日から××年×月×日まで

特定非営利活動法人〇〇〇〇
(単位：円)

科目		金額	
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	会費の性格に応じて分けて記載	×××	
賛助会員受取会費		×××	
.....		×××	×××
2. 受取寄附金			
受取寄附金		×××	
施設等受入評価益	施設等評価費用も併せて計上(計上は法人の任意)	×××	
.....		×××	×××
3. 受取助成金等			
受取民間助成金		×××	
.....		×××	×××
4. 事業収益			
〇〇事業収益			×××
5. その他収益			
受取利息		×××	
雑収益	人件費とその他経費に分けた上で、支出の形態別に内訳を記載	×××	
.....		×××	×××
経常収益計			×××
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当		×××	
法定福利費		×××	
退職給付費用		×××	
福利厚生費		×××	
.....		×××	
人件費計		×××	
(2) その他経費	施設等受入評価費用も併せて計上(計上は法人の任意)		
会議費		×××	
旅費交通費		×××	
施設等評価費用		×××	
減価償却費		×××	
支払利息		×××	
.....		×××	
その他経費計		×××	
事業費計			×××
2. 管理費			
(1) 人件費	人件費とその他経費に分けた上で、支出の形態別に内訳を記載		
役員報酬		×××	
給料手当		×××	
法定福利費		×××	
退職給付費用		×××	
福利厚生費		×××	
.....		×××	
人件費計		×××	
(2) その他経費			
会議費		×××	
旅費交通費		×××	
減価償却費		×××	
支払利息		×××	
.....		×××	
その他経費計		×××	
管理費計			×××
経常費用計			×××
当期経常増減額			×××

III 経常外収益			
1. 固定資産売却益		×××	
.....		×××	
経常外収益計			×××
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損		×××	
.....		×××	
経常外費用計			×××
税引前当期正味財産増減			×××
法人税、住民税及び事業税			×××
当期正味財産増減額			×××
前期繰越正味財産額			×××
次期繰越正味財産額			×××

現預金以外に資産・負債がない場合には、当期の現預金の増減額を表す

初年度は0円。次年度は、初年度の活動計算書の「次期繰越正味財産額」と一致。

初年度は、次年度の活動予算書の「前期繰越正味財産額」と一致

※ 今年度はその他の事業を実施していません
その他の事業を定款で掲げていない法人はこの脚注は不要

(注) 重要性が高いと判断される用途等が制約された寄附金等（対象事業等が定められた補助金等を含む）を受け入れた場合は、「一般正味財産の部」と「指定正味財産の部」に区分して表示することが望ましい。表示例は以下のとおり。

(一般正味財産増減の部)		
I 経常収益		
1. 受取寄附金		
受取寄附金振替額	×××	
.....		
II 経常費用		
2. 事業費		
援助用消耗品費	×××	
.....		
(指定正味財産増減の部)		
受取寄附金	〇〇〇	
.....		
一般正味財産への振替額	△×××	

用途等の制約が解除されたことによる指定正味財産から一般正味財産への振替額

「受取寄附金振替額」と同額をマイナス計上